



イベント

修学旅行に行ってきました！

12月1日～5日 2学年は、修学旅行で京都・大阪・奈良を訪れました。神社仏閣の歴史に触れつつ、法話や自主研修で心に響くひと時を過ごしました。生徒たちは笑顔で絆を深め、素晴らしい思い出に包まれた修学旅行になりました。



ボランティア

地域とつながる伝統体験

12月7日 ボランティア活動として、ゆうなご会のメンバーの方々とラジオ体操と年縄づくり体験を行いました。年縄はお正月に張るしめ縄で、邪気を祓い清める意味があるとされています。この活動には9名の生徒が参加しました。完成したしめ縄は、保育園や織笠県営アパートに寄贈される予定です。

参加した生徒からは、「初めてしめ縄を作る体験ができた」「力がある作業で難しかったが、ゆうなご会の方がやさしく教えてくれた」という感想が寄せられました。この活動を通じて、地域の伝統や人々の温かさに触れる貴重な経験ができました。



わんぴいす

山田海鮮焼き麺 町の魅力を広げる活動

「やまだわんぴいす」のメンバーは、地域イベントで山田海鮮焼き麺の販売を通じて町の魅力発信に取り組んでいます。11月17日の福祉祭りでは準備した焼き麺が完売。続く「おいすたフェス」でも200食を予定していたところ、2日間で250食を完売する成果を上げました。さらに、12月8日の「カキ祭り」では、なんと1日で240食を販売しました。

調理、会計、販売を生徒たちが担当し、町内外のお客様に魅力を発信しました。活動を通じて地域との交流を深め、生徒たちの成長にもつながっています。今後の活躍にも注目です！



ふるさと探究Ⅱ 国内外をつなぐ防災の架け橋

12月14日 陸前高田市の東日本大震災津波伝承館で、2学年がハワイとインドネシア・アチェの生徒とオンライン交流を行い、防災活動や震災伝承について発表しました。ふるさと探究で学んだ津波碑や東日本大震災の復興支援の取り組みを英語で紹介し、ハワイとアチェの生徒からも絵本を活用した防災伝承活動が紹介されました。共通する取り組みから多くを学び、生徒たちは国際的な視点で防災意識を深めました。



ふるさと探究Ⅰ 小学生へ防災を伝える

12月17日 1学年が町内の小学5年生に防災出前授業を実施しました。4月から、ふるさと探究の時間で津波碑や過去の災害について学び、9月には「津波碑ガイドツアー」を通して地域の歴史と防災の重要性を学びました。その経験を活かし、小学生にも分かりやすいスライドを作成し、クイズを交えながら発表しました。高校生からは「クイズを通じて楽しみながら防災の大切さを伝えられた」との感想があり、世代を超えて防災意識を共有し、交流を深める貴重な機会となりました。

